

図書室  
今月のお知らせ  
社会教育センター図書室  
☎28・5449

新刊



**児童書**  
ゆめみるどうぶつたち  
イザベル・シムレル 文・絵  
(3〜5歳向け)  
(岩波書店)



**一般書**  
昭和40年男  
佐川 光晴 著  
(ホーム社)



**一般書**  
旅の作法、人生の極意  
山本 一力 著  
(PHP研究所)

日本、アメリカ、中国…。世界のどこにいても時代小説を書く著者が、旅先で考えたことは、旅で学んだ人生の極意を伝える。



**一般書**  
プライバシーマークやるべきこと  
と、気をつけること  
佐藤 飛手 監修／著  
(あさ出版)

プライバシーマークの関連規程の作成のコツや、実際にプライバシーマークを運用していく上でのポイント、改正個人情報保護法の注意点をわかりやすく解説。

豊山俳句クラブ 青山克己 選

自転車の巡査が走る村の秋

高木須磨子

沖縄や夏の夕日と星砂と

山下敬太

野つ原で見上げた先に鯨雲

黒澤裕子

水澄むや板一枚の船着場

田村多喜子

二百十日防災袋覗きみる

坪井昭子

七五〇cの爆音去りて長き夜

東海林宗義

女郎花これより北へ道をとる

杉浦みどり

人生の狭間を照らす秋の月

水野眞弓

大井川渡る機関車赤とんぼ

石黒貴代子

「まあだだよ」背後に秋の風の来て

青山とも子

窓あけてにはふ草夏の山

谷崎 琴

山上の風連れて来し赤蜻蛉

岡島 齋

時止めしままの廃校秋あかね

坪井径子

夏土用やたらに細い島の路地

青山克己

豊山歌壇 水野笑子 選

わが頬を掠めて行きしギンヤンマの急降下する水草の上

中澤芳子

八十路超え語り合ふ幸妹と目標持ちて生きて行かむと

柴田満枝

梅雨あがり雨なき窓に雲間より月の差しきておぼろに見ゆる

渡辺トヨ子

丈高き籠を調へ雲雀飼ひし父は趣味人未だ懐かし

山田 米

生かされて八十路を過ぎて今日のあり感謝と祈り亡き父母に告ぐる

小出寿枝

自転車にて帰る途中に雨となる雨傘の代りと日傘間に合ふ

荒川昌枝

長雨に早も転がる蝉の骸気候変動に哀れを誘ふ

水野笑子

晩年の母にたまひし我が日傘外出少なくなりしと言ひて

柳千鶴子

ラヂオより「千の風」の歌流れ来てひと昔前の亡き母頭ちくる

水野笑子

「千の風」の歌ヒットせしあの時に母は逝きたりわが涙誘ひて

水野笑子

歌作る事はあの世に無きとも私は作ると独り決めをり

水野笑子

編集後記

先月、名古屋市内で開催された国内最大級の総合防災イベント「防災こくたい」。そのポスターセッションの部に、「2市3町防災ひろめ隊」が出席した。ひろめ隊は、本町をはじめ小牧市、岩倉市、大口町、扶桑町の各市町で自主防災活動に携わる住民有志からなる団体で、平成29年度の2市3町ふれあい協働フォーラムをきっかけにして発足した▼防災こくたいでは、普段の活動内容に加え、濃尾大震災などの過去にこの地域で発生した災害について協力して調査し、ポスターにより紹介した。2市3町の住民が連携することにより、新たな住民協働が実現した▼地域の抱える課題は、防災のほか、子育て・魅力発信など様々だ。行政だけでは解決が難しい問題には、住民協働によるまちづくりを進めることが大切という思いは2市3町で共通している。ともに取り組むことで、住民協働の機運を高めることを目指して開催しているのがふれあい協働フォーラムである▼今年度は12月に扶桑町で開催する。毎回、お集まりいただいた住民の皆様がどうして活発な意見交換が交わされる。参加者からは、「これからの活動の力になった」といった声をいただく。防災ひろめ隊による発表もされる予定だ。これまで参加したことのない方も、ぜひご参加いただきたい。